

国土数值情報XMLシェープ変換ツール

操作説明書

平成 23 年 7 月

国土交通省国土政策局

目次

1. インストール.....	2
1.1. インストーラを起動する.....	2
1.2. JREをインストールする.....	3
1.3. 国土数値情報XMLシェープ変換ツールをインストールする.....	4
1.4. 国土数値情報XMLシェープ変換ツールをアンインストールする.....	6
1.4.1. インストーラからのアンインストール.....	6
1.4.2. プログラムの追加と削除からのアンインストール.....	7
2. 変換ツール 操作手順.....	8
2.1. シェープ変換を行う.....	9
2.1.1. 入力設定.....	9
2.1.2. 出力設定.....	12
2.1.3. シェープファイル変換.....	13
2.2. 変換ログ.....	15
2.2.1. エラー項目一覧.....	16

1. インストール

1.1. インストーラを起動する

インストーラ(KsjToolInstaller.exe)を起動すると、以下の画面が表示されます。



図 1

国土数値情報 XML シェープ変換ツールを動作させるためには、Java6 Runtime Environment (JRE1.6 以上) がインストールされている必要があります。

Java6 Runtime Environmentがインストールされていない場合、「1.2 JREをインストールする」を参照し、最初に、Java6 Runtime Environmentのインストールを実行してください。

Java6 Runtime Environmentがインストールされている場合、「1.3. 国土数値情報XMLシェープ変換ツールをインストールする」を参照し、国土数値情報XMLシェープ変換ツールインストールを実行してください。

1.2. JREをインストールする

Java 6 Runtime Environment (JRE) のインストールを行います。

「Java 6 Runtime Environment のインストール」ボタンをクリックします。



図 2

JRE インストーラが起動しますので、画面の案内に従いインストール作業を行ってください。



図 3

JRE をインストール後、国土数値情報 XML シェープ変換ツールをインストールします。

1.3. 国土数値情報XMLシェープ変換ツールをインストールする

「国土数値情報 XML シェープ変換ツールのインストール」ボタンをクリックします。

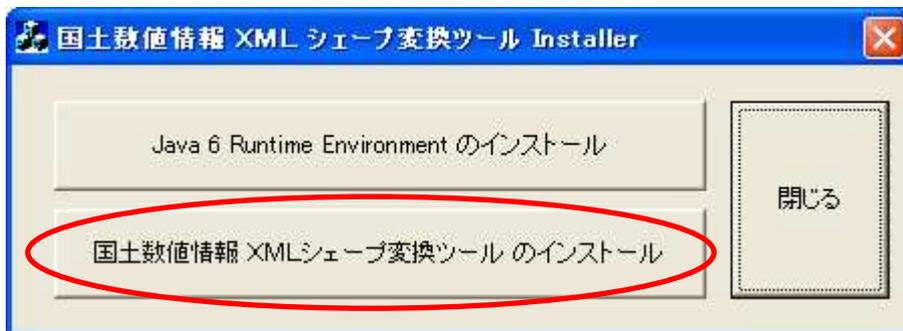


図 4

「KsjTool セットアップウィザード」が起動しますので、「次へ」ボタンをクリックしてください。

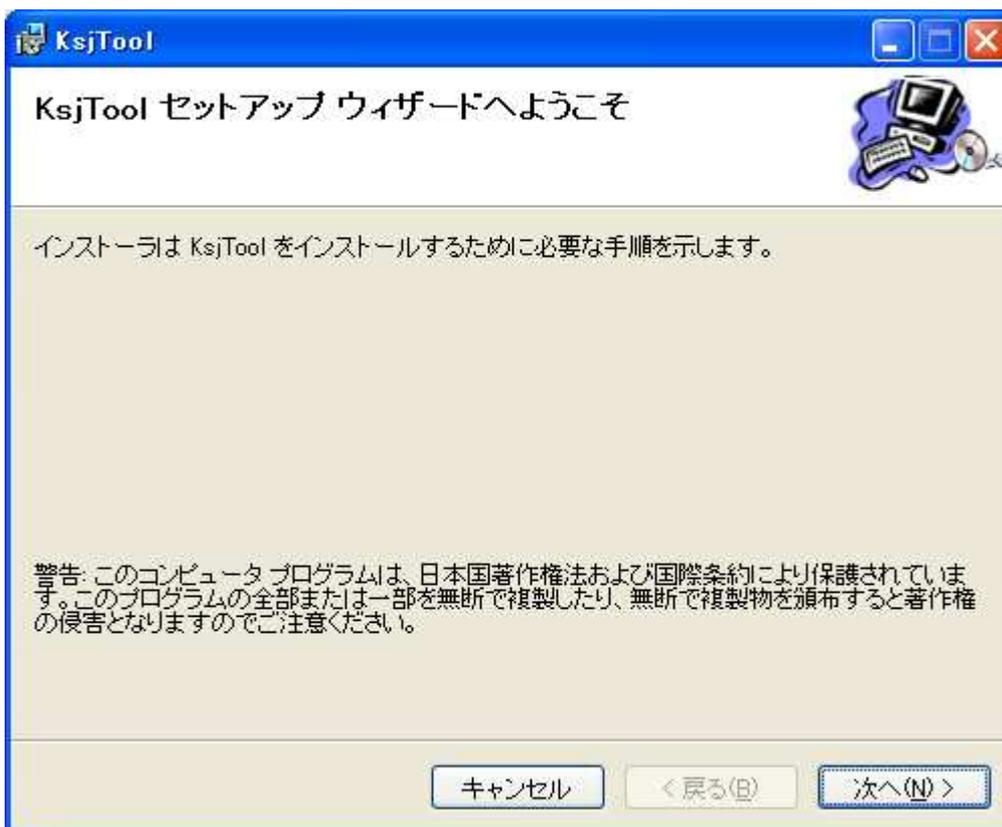


図 5

インストールフォルダを変更する場合には「参照」ボタンをクリックして変更します。
設定内容を確認し、問題がない場合には「次へ」ボタンをクリックしてください。



図 6

以下、画面の案内に従いインストール作業を行います。インストールが完了すると、デスクトップ上に起動用のショートカットが作成されます。

1.4. 国土数値情報XMLシェープ変換ツールをアンインストールする

1.4.1. インストーラからのアンインストール

「国土数値情報 XMLシェープ変換ツールのインストール」ボタンをクリックします。

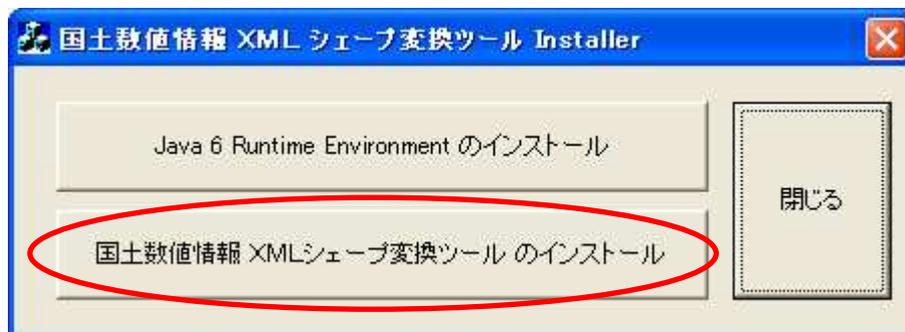


図 7

KsjTool の削除を選択し、「完了」ボタンをクリックします。

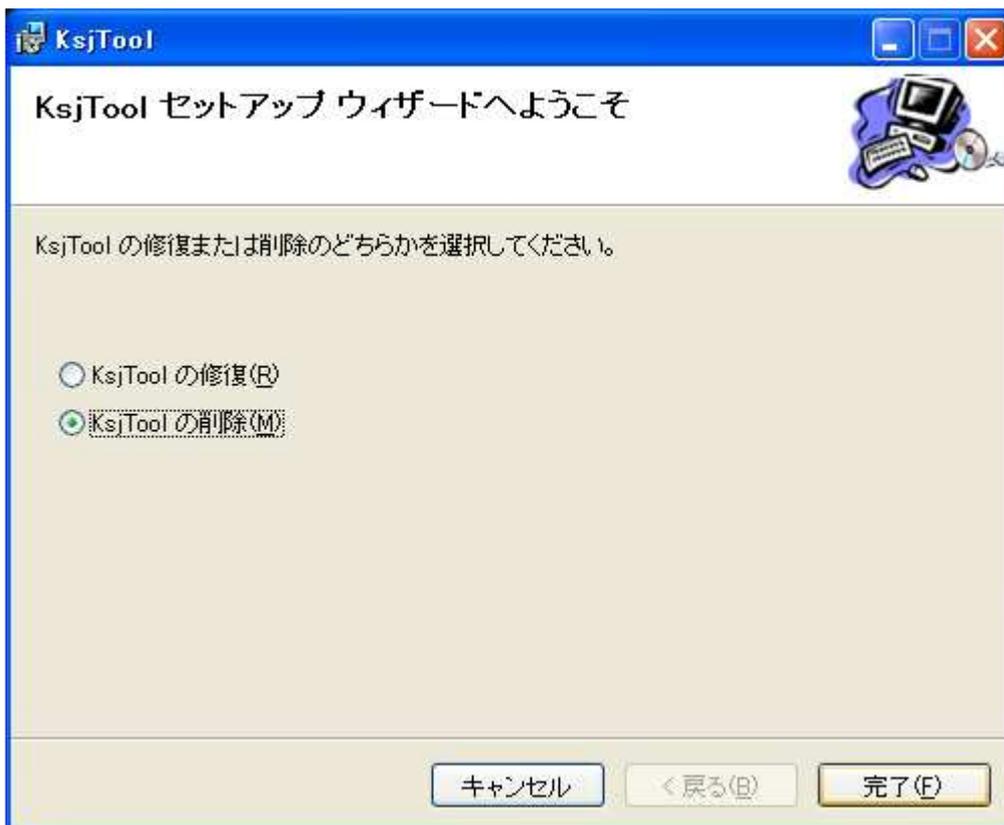


図 8

1.4.2. プログラムの追加と削除からのアンインストール

「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」から、プログラムの追加と削除を選択します。

プログラムの変更と削除タブから KsjTool を選択し、「削除」ボタンをクリックします。



図 9

2. 変換ツール 操作手順

デスクトップ上のショートカット、「KSJ シェープ変換ツール」をクリックし、国土数値情報XMLシェープ変換ツールを起動します。

以下の画面が表示されます。

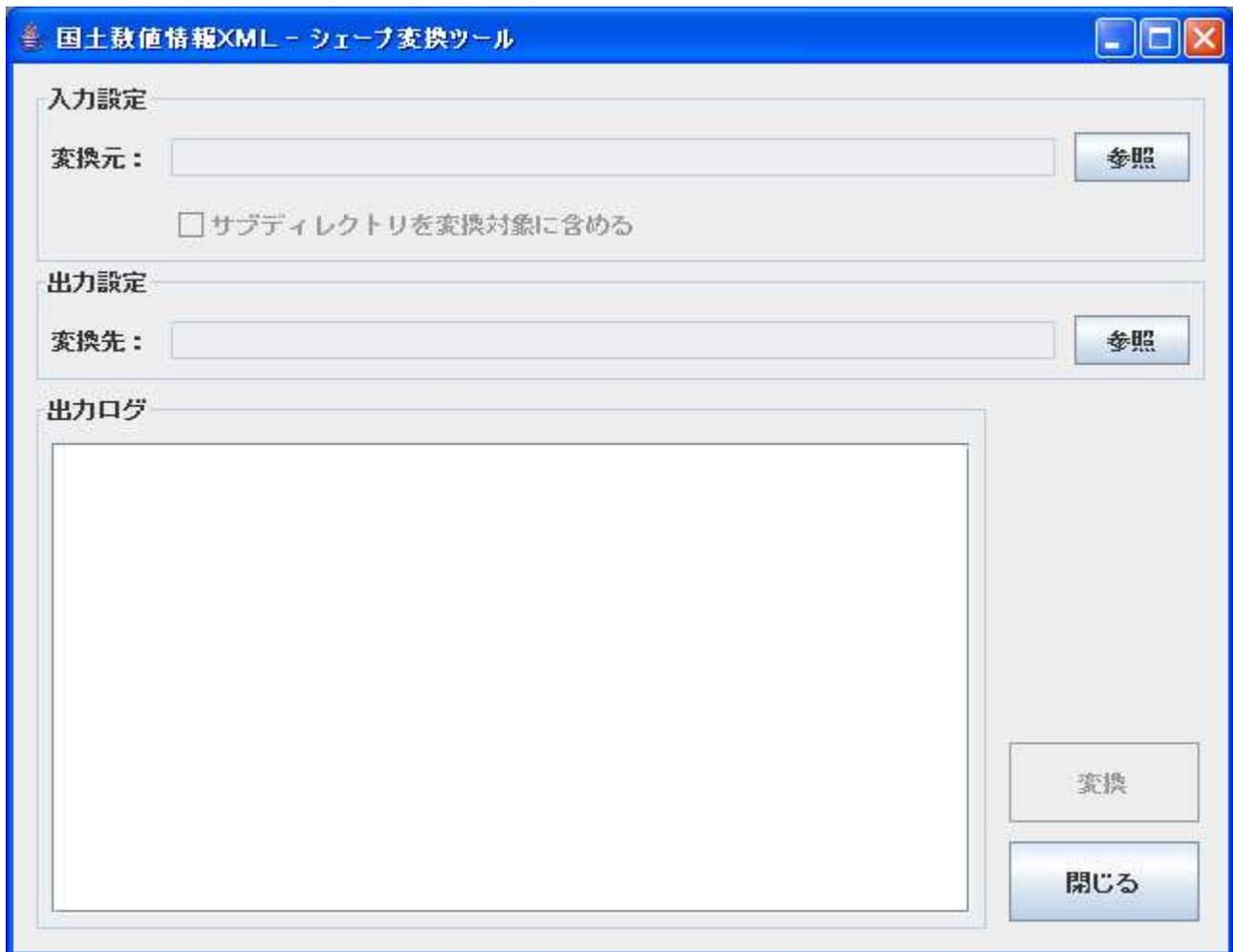


図 10

2.1. シェープ変換を行う

2.1.1. 入力設定

変換する XML ファイルを指定します。入力設定欄の「参照」ボタンをクリックしてください。

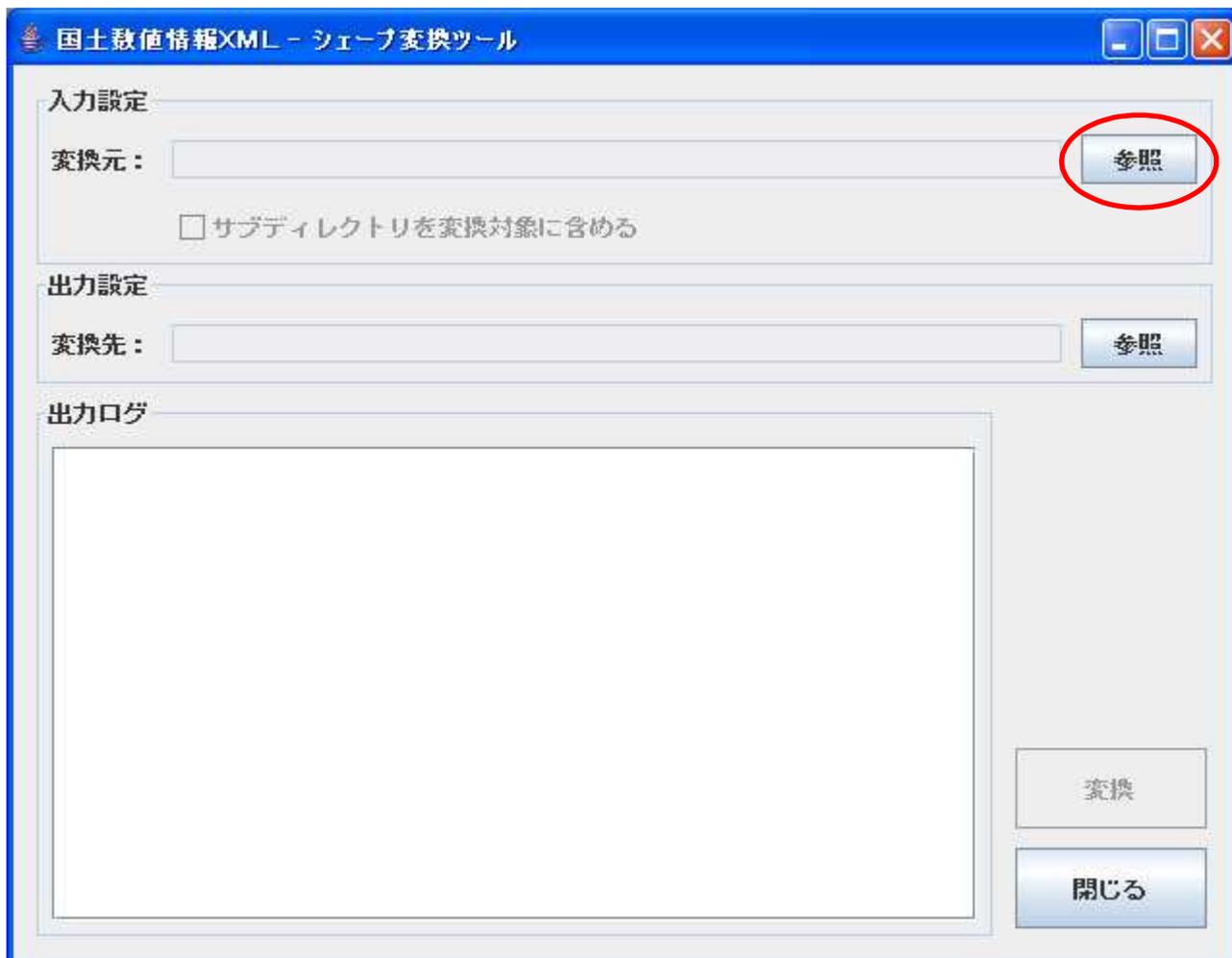


図 11

変換する XML ファイルは、以下の 2 種類の方法で指定できます。

- ・ 指定した XML ファイルを変換する。
- ・ 指定したディレクトリにある XML ファイルを変換する。

<指定した XML ファイルを変換する> 変換対象のXMLファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。

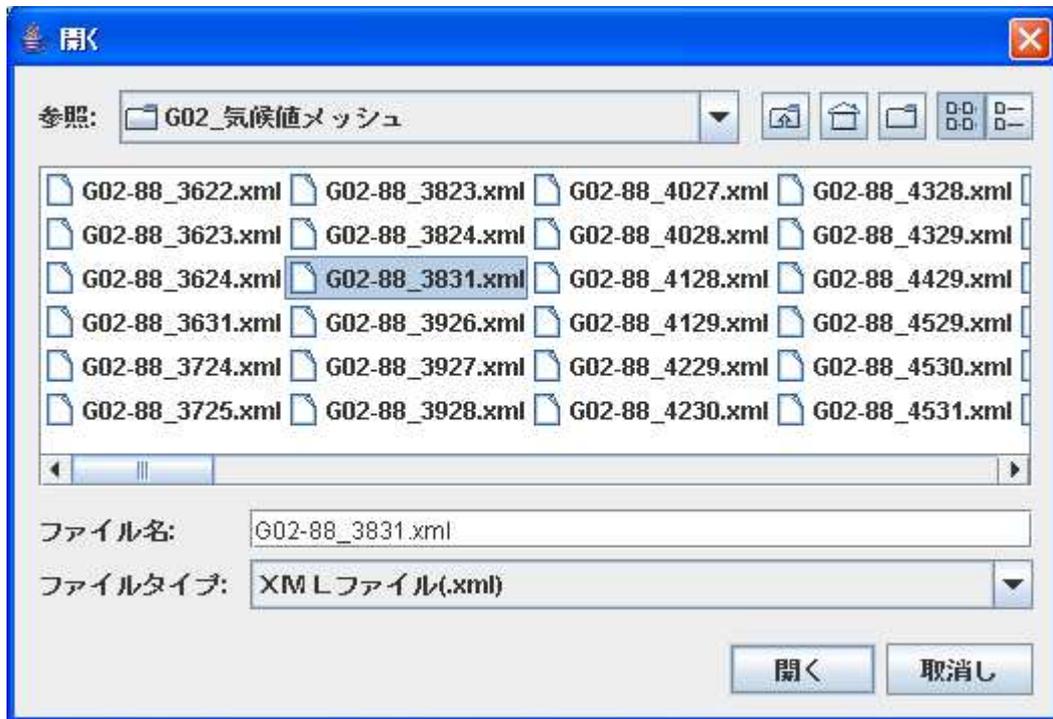


図 12

＜指定したディレクトリにある XML ファイルを変換する＞ 変換対象のディレクトリを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

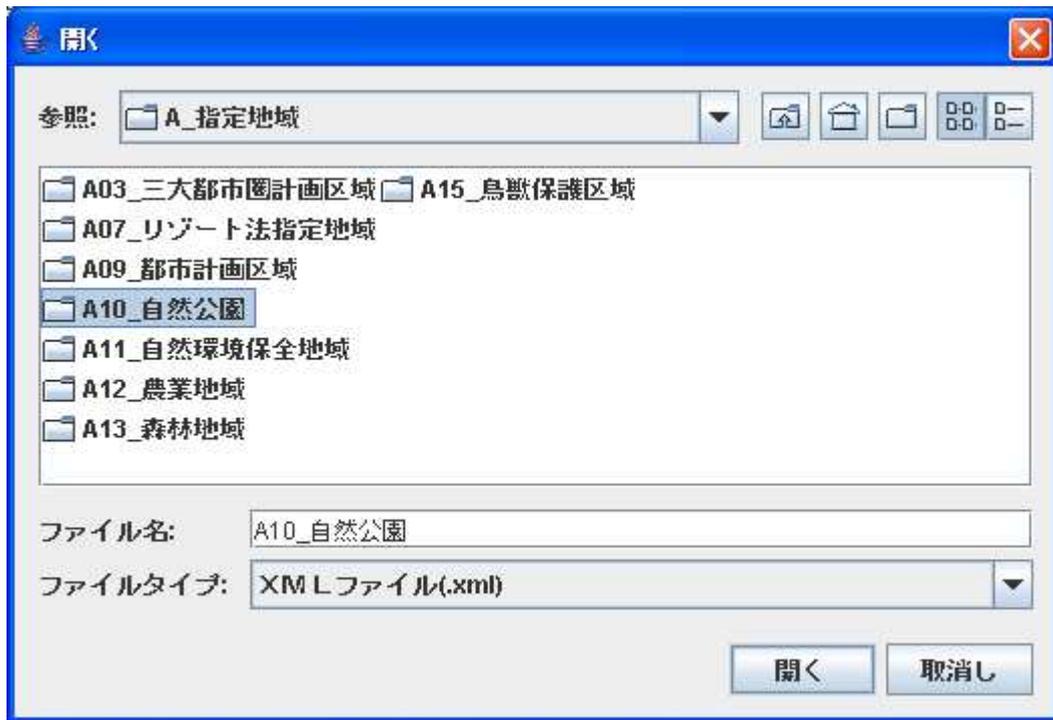


図 13

指定したディレクトリ以下のサブディレクトリを変換対象として含める場合には、「サブディレクトリを変換対象に含める」にチェックを入れます。サブディレクトリの階層構造は出力ディレクトリにも反映されます。

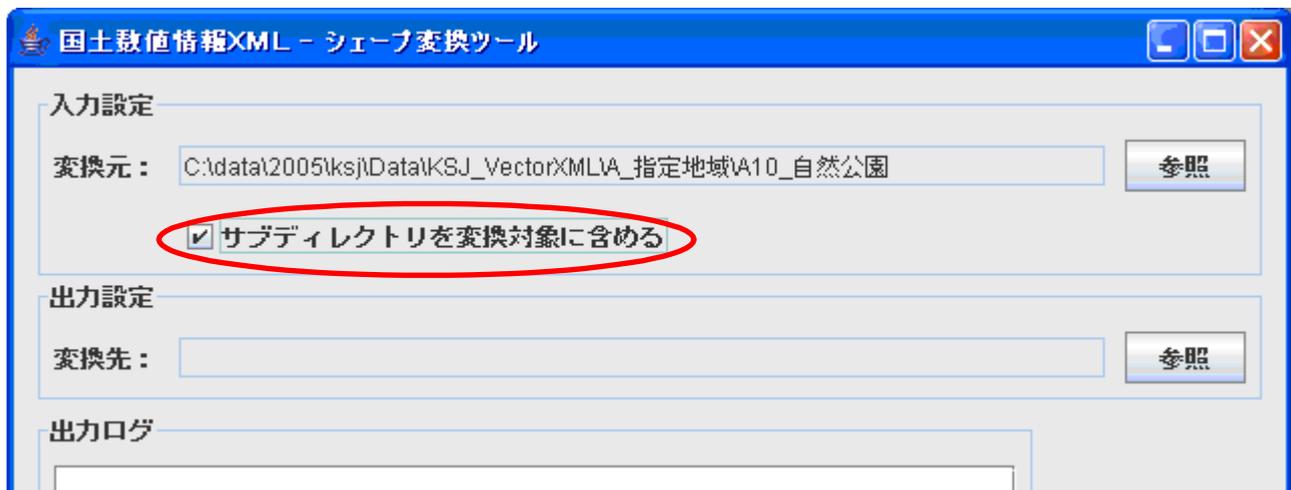


図 14

2.1.2. 出力設定

出力設定欄の「参照」ボタンをクリックします。

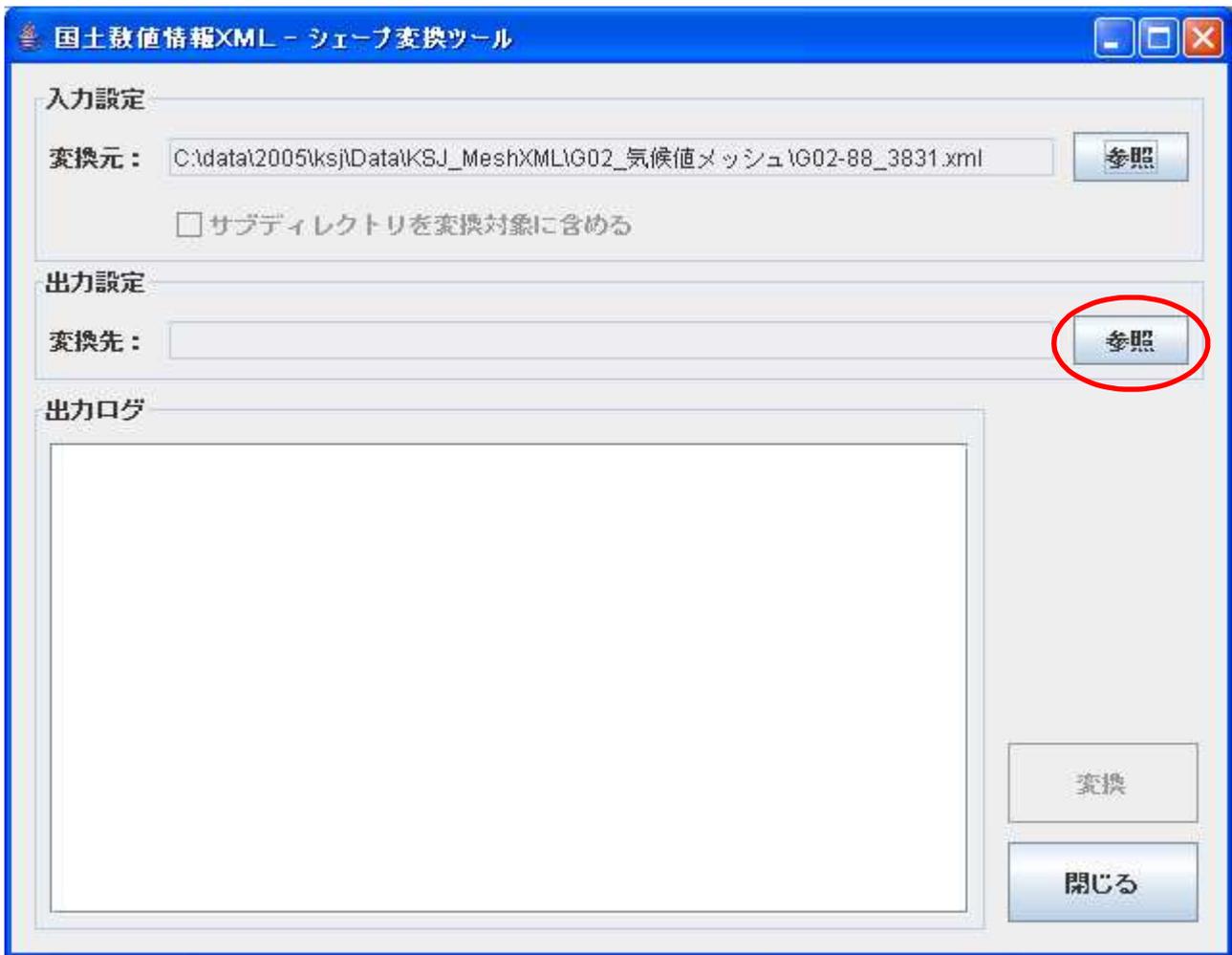


図 15

シェープファイルを出力するディレクトリを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



図 16

2.1.3. シェープファイル変換

入力設定および出力設定が完了すると「変換」ボタンが使用可能となりますので、これをクリックしてください。

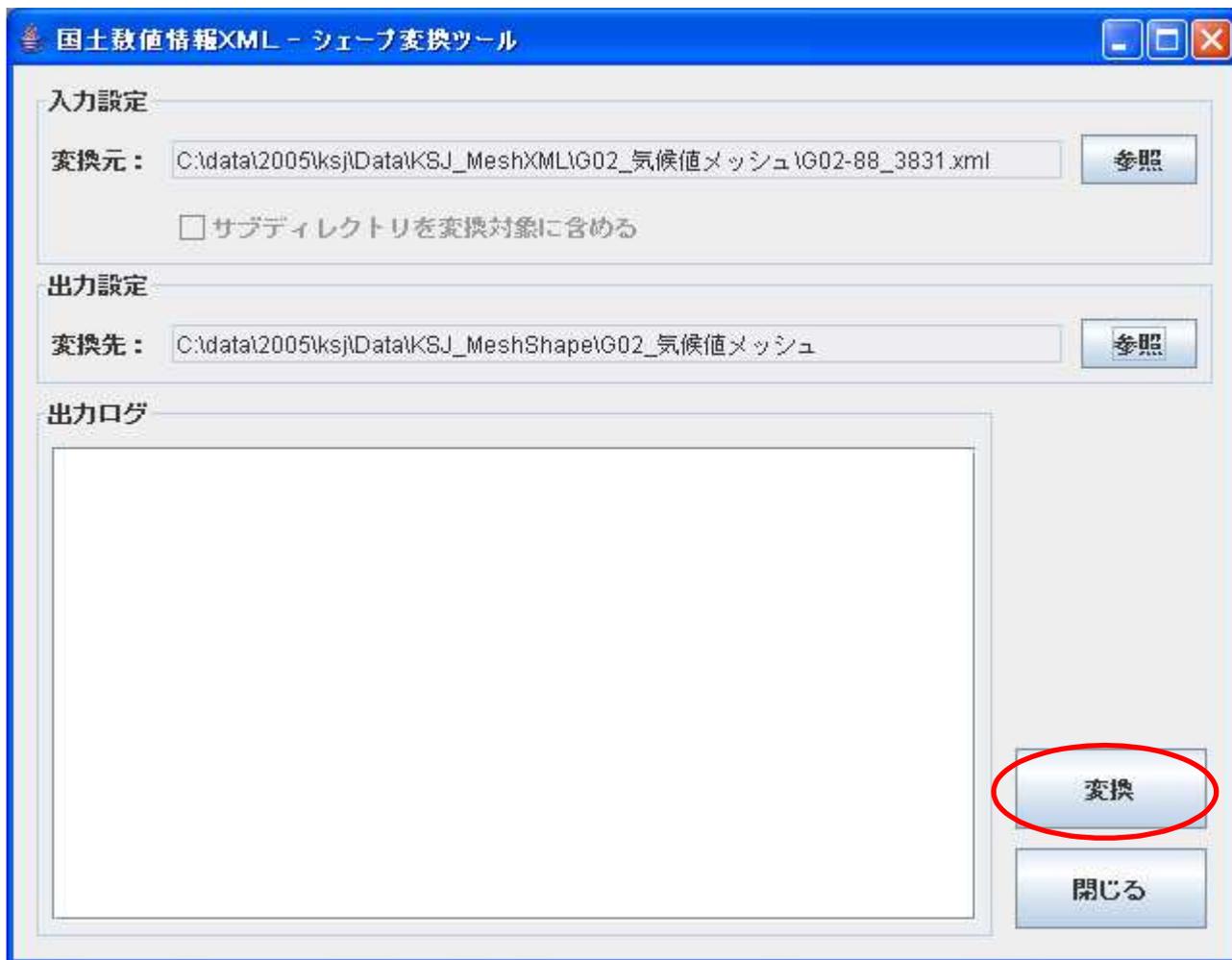


図 17

変換状況に応じて処理内容が出力ログに出力されます。
変換中は、「閉じる」ボタン以外の操作は行えません。

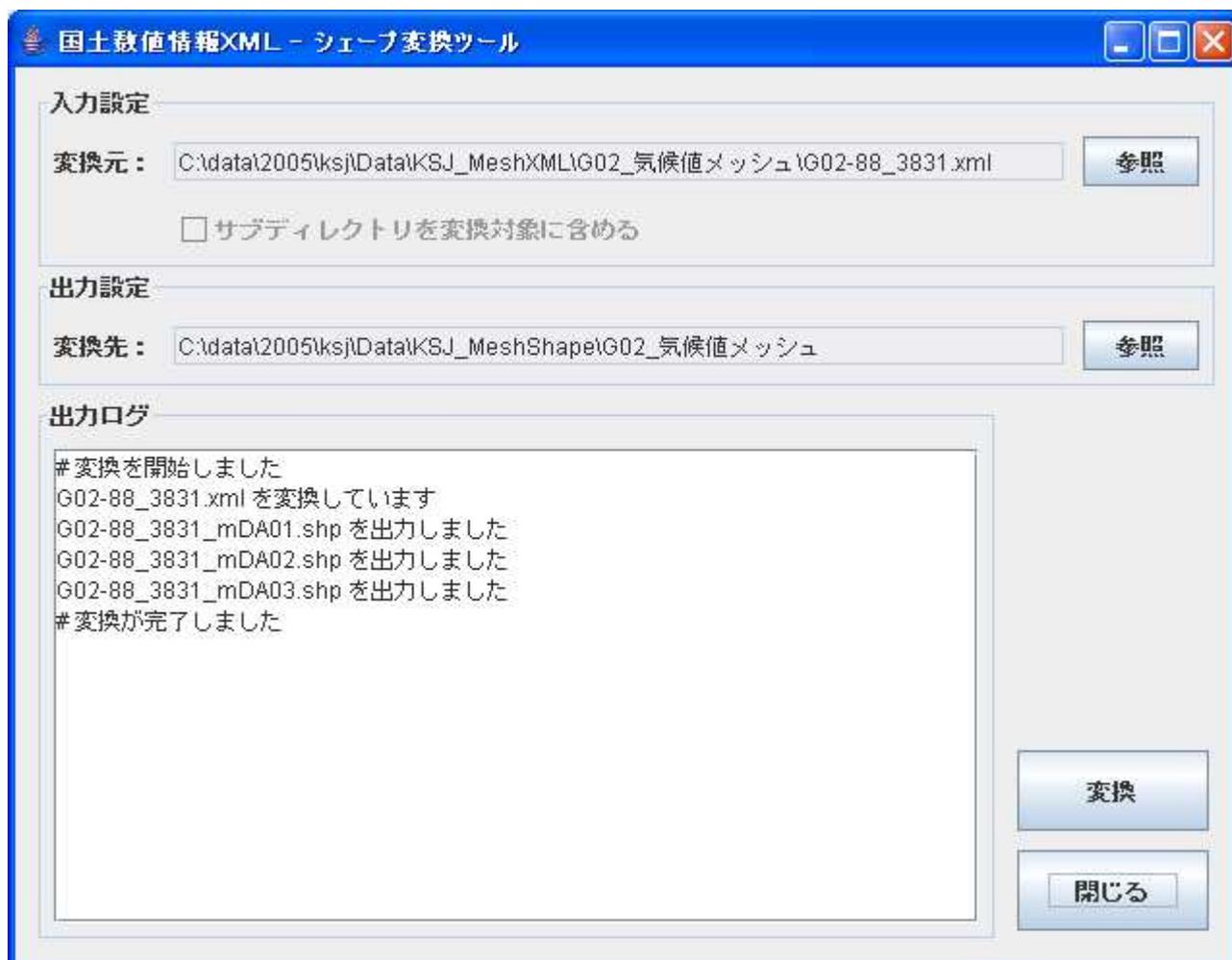


図 18

2.2. 変換ログ

変換中にエラーが発生した場合には、出力ログにエラー内容が出力されます。

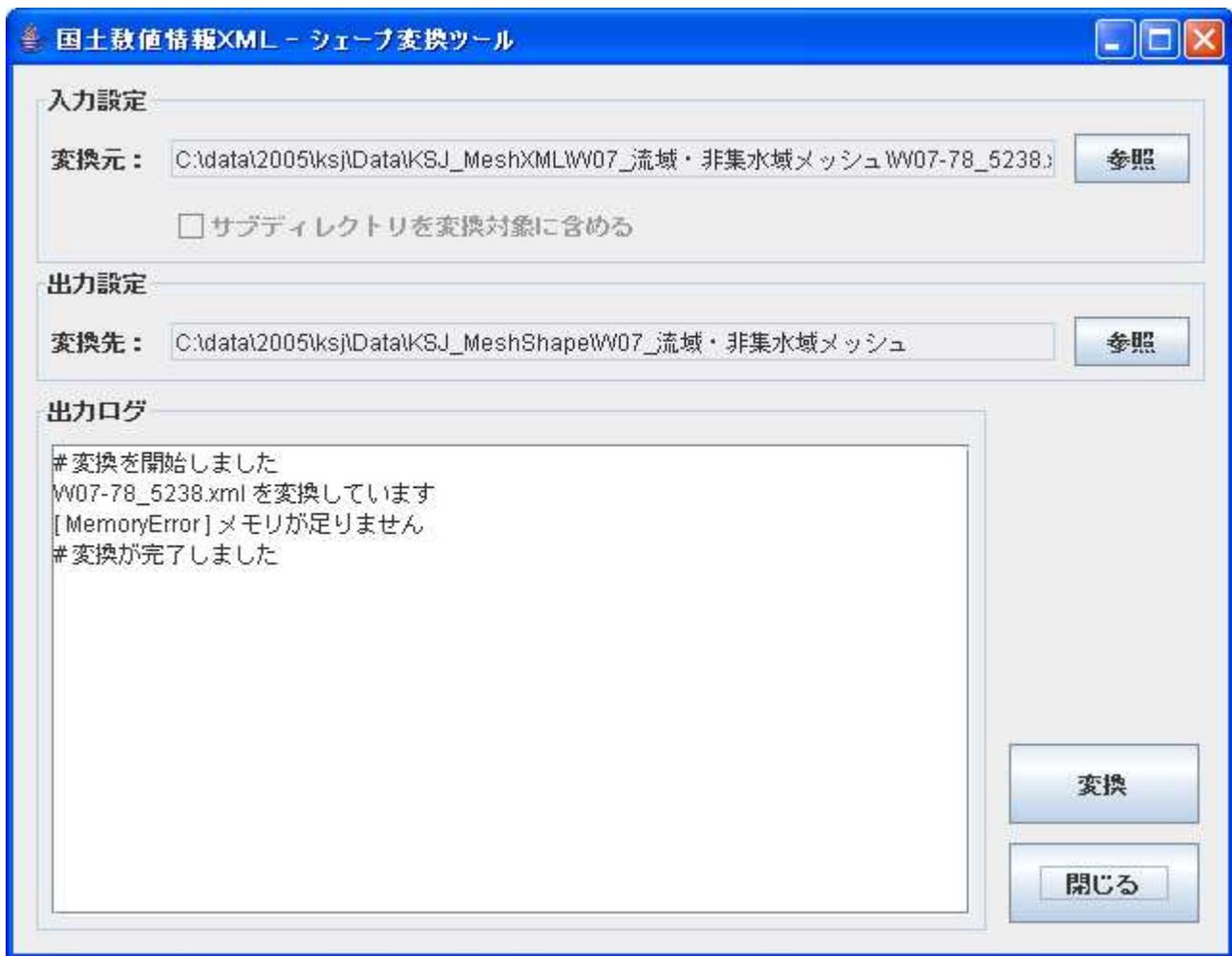


図 19

2.2.1. エラー項目一覧

出力ログに表示されるエラーは、以下の通りです。

種別	メッセージ/概要
[InitError] 初期化エラー	「標準スキーマ定義ファイルの読み込みに失敗しました」 実行ディレクトリの <code>conf</code> 直下に <code>standard.xml</code> が見つからない場合に発生します。
	「地物スキーマ定義ファイルの読み込みに失敗しました」 実行ディレクトリの <code>conf</code> 直下に <code>feature.xml</code> が見つからない場合に発生します。
[InputError] 入力エラー	「XMLファイルが見つかりません」指定したディレクトリ内にXMLファイルが存在しない場合に発生します。
	「ファイルが見つかりません」指定したファイルが存在しない場合に発生します。
	「ファイルの読み込みに失敗しました」指定したファイルの読み込みが禁止されている場合などに発生します。
	「XMLの解析に失敗しました」指定したファイルのXML構造に異常がある場合に発生します。
	「変換対象の地物が見つかりません」指定したファイルが変換対象のXMLでない場合に発生します。
[OutputError] 出力エラー	「ファイルの作成に失敗しました」変換先に指定したディレクトリが書き込み禁止になっているなど、何らかの理由によりファイルを作成することが出来ない場合に発生します。
	「ファイルの書き込みに失敗しました」出力ファイルと同じ名前のファイルが既に存在し、そのファイルが書き込み禁止になっている場合などに発生します。
	「ファイルのクローズに失敗しました」何らかの理由によりファイルの作成に失敗した場合に発生します。
[MemoryError] メモリエラー	<p>「メモリが足りません」指定したファイルのサイズが大きい場合などに発生します。実行用バッチファイルを開いてメモリ設定を変更してください。メモリ設定につきましては以下の方法をお試し下さい。</p> <p>0. KsjTool を起動中の場合は終了する。</p> <p>1. KsjTool のインストールフォルダ(デフォルト設定では、“C:\Program Files\KsjTool”)にある GUI.bat を編集モードで開く。</p> <p>2. 四行目の</p> <pre>set option=-Xms256m -Xmx256m</pre> <p>という記述のうち、“256”を二箇所とも“512”に書き換え</p> <pre>set option=-Xms512m -Xmx512m</pre> <p>とする。(ただし、PC のメモリが 512MB 以上であることが前提)</p>

<p>3. GUI.bat を上書き保存する。デフォルト設定では、上記「2.」にありますように、使用するメモリを 256MB と設定しているため、お使いの PC のメモリが 256MB を超えていても、それを最大限使用せずエラーメッセージを表示して終了します。</p>
--